

平成27年度施策評価調査

整理番号	7
評価担当課	健康福祉部こども・高齢者支援室こども未来課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	子育て支援施設等の整備・拡充		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉)
	主要施策	3	子育て支援の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	子育て家庭の環境変化により多様化する保育需要に対応し、名寄ひまわり子育てプラン「ここで育て、ここで育ててよかったといえるまちをめざして」に基づき、子どもを主体とした施策の充実を図り、地域ぐるみで子どもを守り育てる環境づくりに努める。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	出生数は横ばい傾向にありますが、女性の社会進出や就業形態の変化に伴い、子育て環境も変化し、保育ニーズは拡大傾向にあり、子育てに関する要望も複雑・多様化してきています。平成25年度には子ども・子育て支援事業計画の基礎となる、子育てニーズ調査を実施し、平成26年度に名寄ひまわり子育てプランを継承し、「名寄市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、特定教育・保育の提供体制充実や地域子ども・子育て支援事業を中心としながら、子育て環境の整備、市民のニーズに応じたサービスが提供できるよう努めています。
施策の課題	平成27年4月より子ども・子育て支援新制度がスタートし、全国では幼保一元化を目的とした認定こども園化が進んでおります。民間教育・保育施設においても認定こども園や認可施設への移行の動きもあることから、その動向を考慮し、老朽化の進む公立保育所の整備及びその運用方法について検討を進めなければならない。又、給付事業においても今後の社会情勢を見ながら、貧困対策や多子世帯への負担軽減などの方策も検討を進めていかなければならない。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
待機児童数	保育所入所希望者の待機児童数	目標値	0	0	0	
		実績値	0	0	0	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
子育て支援センターの運営	利用延人数	目標値				
		実績値	16,992	19,703	23,137	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
乳幼児等医療給付事業	医療費助成件数	目標値				
		実績値	19,419	17,403	20,262	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
ひとり親家庭等医療給付事業	医療費助成件数	目標値				
		実績値	4,218	3,786	3,737	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
遠距離通園・通所費助成	認定件数	目標値				
		実績値	21	29	34	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	複雑・多様化する要望とのバランスを取りながら、サービスの質の向上等変化していけるように取り組む。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、関係機関・団体が連携し取り組みを継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	認定こども園運営事業	子どもが親の就労形態に影響を受けることなく教育・保育を受けることが出来る認定こども園運営補助	53,556	a	a	a	a	a	A		
2	乳幼児医療給付事業費	就学前児童の医療費無償化、小学生の入院医療費無償化を実施し、児童の健康を促進・向上を図る	50,429	a	a	a	a	a	A		
3	ひとり親家庭等医療給付事業	ひとり親家庭等の医療費を支援することにより生活安定と自立促進を図る。	12,585	a	a	a	a	a	A		
4	市立保育所3ヶ所の運営管理	多様化する就労形態に対応し、市内保育のニーズ充足	264,014	a	a	a	a	a	A		
5	へき地保育所2ヶ所の運営	市街地保育所への通所困難な地域への保育サービスの提供	20,521	a	a	a	b	a	A		
6	私立保育所の運営	風連地域への保育サービスの提供	70,349	a	a	a	a	a	A		
7	遠距離通園・通所費助成	子育て中の市民が遠距離通園を余儀なくしなければならない場合の支援	1,286	a	a	a	a	a	A		
8	子育て支援センターの運営	子育てするお母さん等に交流、育児を相談することができる環境の提供	22,644	a	a	a	a	a	A		
9	地域活動事業	バスを利用し、閉所となっている保育所施設を再活用しながら、地域住民と子育て世代親子の交流を図る。	1,992	a	a	a	a	a	A		
10	私立夜間保育所運営助成	夜間保育の実施し、夜間保育ニーズの充足を図る	1,000	a	a	a	a	a	A		
11	母子通園等事業	発達に不安を抱えるお子さんをお持ちの保護者の相談窓口として、療育を行い成長の手助けをする専門機関として運営	25,256	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

保育所給食施設環境整備事業

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	認定こども園運営事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	2	幼保一体化の検討

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	児童が親の就労形態に影響を受けずに教育・保育を受ける環境整備			
対象(何を又は誰を)	就学前児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	名寄大谷認定こども園への支援			
意図(どのような成果を期待しているか)	名寄市内の教育・保育ニーズの充足			
事業実施主体	名寄大谷認定こども園			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H21年度	終期設定	有(終期年度) ・ 無
根拠法令・条例等	児童福祉法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 定員充足率 定員に対する実在籍児童率	%	目標					
			実績	105	103	105	101	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	50,269	49,331	53,556	94,589	保育所運営費 45,612
国道支出金	32,654	33,982	37,033	56,475	保育士処遇改善 801
地方債					延長保育 4,891
その他		7	2	25	一時保育 530
一般財源	17,615	15,342	16,521	38,089	病後児保育 1,200
人件費	1,337	1,326	1,326	2,652	障害児保育 523
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.40	
総事業費	51,606	50,657	54,882	97,241	
対前年比(%)	—	98	108	177	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	860	844	914	総事業費/定員
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成27年4月から子ども・子育て新制度が施行されたことに伴い、認定こども園の幼稚園部分についても事業の対象となった。
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	親の就労形態に左右されず、教育・保育を受けることができる認定こども園は就労形態が多様化している現在の市民ニーズに適合している。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	新制度においても認定こども園化が進められている。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	運営費については国の基準により支出しているため、コスト削減はできないが、病後児保育では利用実績が少ないこともあり、協議の上、補助金の圧縮を図った。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	国で定める額を基準としながら、利用者の所得状況を総合的に判断し、算定をおこなった。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	現在の保育ニーズは非常に多くあり、ニーズ充足の施設として達成度は高い

5 1次評価

評価結果	理由	
A	保育ニーズを充足するためにはなくてはならない施設となっている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

※評価対象外 事業実態がない

整理番号	7	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	保育所給食施設環境整備事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	1	保育環境の整備と拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	各保育所に設置している給食施設の効率化や労働環境向上			
対象(何を又は誰を)	公立保育所給食施設			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	施設の充実(食器乾燥機やエアコンの設置など)			
意図(どのような成果を期待しているか)	離乳食やアレルギー食などの増加に対応			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
実績								
3		目標						
		実績						
成果指標	1		目標					
			実績					
2		目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ~

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性 目的を達成するための方法として有効か？		
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがな いか？		
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	市立保育所3ヶ所の運営管理			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	無	主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	1	保育環境の整備と拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市内保育所ニーズの充足			
対象(何を又は誰を)	保育に欠ける就学前児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	保育を必要とする児童の受入れ			
意図(どのような成果を期待しているか)	児童福祉法第24条による市町村の責務			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	児童福祉法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 月平均利用数 保育所月平均の利用数	人	目標					
			実績	223	226	228	226	
	2	人	目標					
実績								
3	人	目標						
		実績						
成果指標	1 待機児童 受入れ出来ず待機した児童数	人	目標	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	
	2	人	目標					
実績								

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	256,761	266,297	264,014	274,067	通常保育 255,402	
国道支出金	1,420	1,420	2,116	1,892	延長保育 5,760	
地方債					一時保育 2,852	
その他	67,632	67,477	72,726	70,576		
一般財源	187,709	197,400	189,172	201,599		
人件費	6,683	6,629	6,629	6,629		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	1.00	1.00	1.00	1.00		
総事業費	263,444	272,926	270,643	280,696		
対前年比(%)	—	104	99	104	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	1,181	1,207	1,187	1,242	総事業費/月平均利用数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	女性の社会進出や社会復帰により3歳未満児童の保育ニーズの高まり
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	働く女性が多く、保育ニーズは非常に高く、公立保育所の保育実施は必要と考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	保育ニーズが高く、民間保育施設と連携を図りながら、保育を実施していく必要がある。又、民間保育所では対応できない部分を公立保育所においてニーズの充足をしていなければならないと考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	多様な保育ニーズに対応するためには、コストの問題等により、民間保育所が実施できない部分においては公立保育所がこなしていかなければならないと考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	国で定める額を基準としながら、利用者の所得状況を総合的に判断し、算定をおこなった。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	定員充足率は100%を超過しており、達成度は高いと考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	保育ニーズを充足するためには継続していく必要があるが、民間保育所の動向も視野に入れながら、今後の運営規模を検討していかなければならない。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	へき地保育所2ヶ所の運営			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	1	保育環境の整備と拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市街地保育所への通所困難な地域への保育環境の提供				
対象(何を又は誰を)	2歳児以上の就学前児童				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	運営を地域運営委員会へ委託し、保育業務を実施				
意図(どのような成果を期待しているか)	通所困難な地域の保育ニーズの充足				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期年度)	無
根拠法令・条例等	児童福祉法				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	1	2			実績	実績	実績	実績	実績
活動指標	1	年間延べ児童数	人	目標					
		砺波保育所		実績	193	175	179	156	
	2	年間延べ児童数	人	目標					
智恵文保育所		実績		261	285	221	156		
成果指標	1			目標					
				実績					
2				目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	21,847	22,316	20,521	23,561	保育事業
国道支出金	2,000	2,000	3,000		
地方債					
その他	4,614	4,600	3,997	4,200	
一般財源	15,233	15,716	13,524	19,361	
人件費	668	663	663	663	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	22,515	22,979	21,184	24,224	
対前年比(%)	—	102	92	114	
事業コスト	活動指標1	50	50	53	総事業費/児童数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	風連日進保育所は19年12月より休所、25年3月末閉所
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	民間保育所では提供できない、市街地保育所へ通所困難な地域の保育サービス提供のためには必要と考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	民間保育所では提供できない、市街地保育所へ通所困難な地域の保育サービス提供のためには必要と考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	地域によっては児童数が減少傾向にあるが市民が公平に保育サービスを受けるためには必要と考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	無認可施設であり、保育を実施している施設の環境等を考慮し、受益者負担額は適当と考える。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	総体の保育数は少ないが、地域に必要な保育ニーズは充足出来ていると考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	地域には必要は保育施設であるが児童数の減少にどのように対応していくか検討が必要	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	児童数に沿った人員の配置	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	5
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	私立保育所の運営			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	1	保育環境の整備と拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市内保育所ニーズの充足			
対象(何を又は誰を)	保育に欠ける就学前児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	風連さくら保育園への委託			
意図(どのような成果を期待しているか)	名寄市内の保育ニーズの充足			
事業実施主体	風連さくら保育園			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等	児童福祉法 子ども・子育て支援法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 定員充足率	%	目標	99	83	104	100	
			実績					
	2		目標					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	65,431	59,436	70,349	60,213	保育事業 68,579	
国道支出金	40,891	35,360	42,318	37,656	一時保育 441	
地方債					延長保育 1,329	
その他	9,960	9,600	11,102	12,310		
一般財源	14,580	14,476	16,929	10,247		
人件費	1,337	1,326	1,326	1,326		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20		
総事業費	66,768	60,762	71,675	61,539		
対前年比(%)	—	91	118	86	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	1,113	1,012	1,433	1,538	総事業費/定員
	活動指標2					平成24. 25年度60名 平成26年度50名 (千円)
	活動指標3					平成27年度 40名

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	合併による保育料額の統一
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	働く女性が多く、保育ニーズは高く、風連地区への保育サービスを提供するためには不可欠と考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	風連地区の唯一の保育施設であり、保育サービスを提供するためには不可欠と考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	運営費については国の基準により支出している。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	国で定める額を基準としながら、利用者の所得状況を総合的に判断し、算定をおこなった。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	風連地区の唯一の保育施設であり、風連地区の保育ニーズを充足出来ていると考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	風連地区の唯一の保育施設であり、風連地区の保育ニーズを充足するためにはなくてはならない施設となっている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	6
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	子育て支援センターの運営			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	無	主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	子育てをする親に交流、育児を相談することができる環境の提供			
対象(何を又は誰を)	子育て中の母及び就学前の児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	公立、私立の既存保育施設を利用し、集団で活動を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	子育ての孤立化を 방지、悩みの少ない楽しい子育てを行っていただく。			
事業実施主体	名寄市、大谷認定こども園、さくら保育園			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	11年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市地域子育て支援センター事業実施要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H24	H25	H26	H27見込	
活動指標	1 提供施設	施設	目標				
			実績	3	3	3	2
	2		目標				
			実績				
	3		目標				
			実績				
成果指標	1 利用延人数	人	目標				
			実績	16992	19703	23137	24000
	2		目標				
			実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	22,521	22,241	22,644	16,574	さくらんぼ 12,613,802
国道支出金	10,090	9,484	14,774	8,970	ちゅうりっぷ 8,600,000
地方債					こぐま 1,431,101
その他					
一般財源	12,431	12,757	7,870	7,604	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	
総事業費	22,521	22,241	22,644	16,574	
対前年比(%)	—	99	102	73	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	1	1	1	総事業費/参加人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成27年4月から大谷認定こども園「ちゅうりっぷ」休所するが、9月末までは親子マヤにより子育て支援を実施する。
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	名寄に親戚のいない子育て世代の親が多く、育児が孤立化しやすい環境の中で、行政が気軽に子育て相談、集団活用等の場を提供することは、重要なサービスだと考えます。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	市内3ヶ所でサービスを提供していますが、利用実績から見ても有効と考えます。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	国の政策により、国庫補助が財源としては入ってきており、低コストで効果を上げていると考えます。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	次世代を担う子どもが対象のため、社会全体で支える考えからすると妥当と考えます。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	さくらんぼについては施設を移転し、いつでも来所しやすい環境を提供し、親子お出かけバスツアーや青空保育などと連携を図りながら、新たなニーズにも対応できるよう事業の継続を進める。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	利用者も増加傾向にある。継続しながら改善点を検討していく。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	7
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	地域活動事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	親子がバスを利用して、ちょっとした旅行気分を味わい、リフレッシュしながら、閉所となっていた風連日進保育所を利用することで、地域の老人クラブとの交流を図る			
対象(何を又は誰を)	就学前児童の親子			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市内から風連日進地区の旧保育所を利用し、収穫祭や餅つきなどの特別行事も開催			
意図(どのような成果を期待しているか)	子育て世帯親子と地域住民の交流			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H24 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	1	2			実績				
活動指標	1	参加人数	人	目標					
		親子お出かけバスツアー参加人数		実績	1007	1098	1085	1100	
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
成果指標	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	3,390	2,059	1,992	2,302	親子お出かけバスツアー 全12回開催 5月～3月 7月 こども縁日 8月 親子運動会 9月 収穫祭 12月 餅つき
国道支出金					
地方債					
その他	1,000	930	790		
一般財源	2,390	1,129	1,202	2,302	
人件費	1,337	1,326	1,326	1,326	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	4,727	3,385	3,318	3,628	
対前年比(%)	—	72	98	109	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	5	3	3	総事業費/参加人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	事業も定着し、風連日進の地域住民との交流も図れている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	親のリフレッシュ、風連日進地域のとの交流を特別行事を行いながら、実施している。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	事業も定着し、安定した利用者数を確保出来ており、参加者の交流の輪が広がっていると考えられ、育児に対する不安も軽減できていると考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	対象者が事業を利用しやすいように、バス乗車場所の駐車場の確保や利用時間の配慮を行い、利用しやすい環境を提供できていると考える
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	事業も定着し、安定した利用者数を確保出来ており、参加者の交流の輪が広がっていると考えられ、育児に対する不安も軽減できていると考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	参加人数も多く、非常にニーズの高いバスツアーとなっている。特別行事も定着しつつあり、地域の協力もいただける状況にある。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	8
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	私立夜間保育所運営助成			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	1	保育環境の整備と拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	夜間保育ニーズの充足			
対象(何を又は誰を)	就学前児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	どろんこはうすへ補助金により実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	多様化する就労形態への対応			
事業実施主体	共同保育園どろんこはうす運営委員会			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市無認可保育所運営補助要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 夜間保育実施箇所		目標					
			実績	1	1	1	1	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	夜間保育の実施
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	
総事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	
対前年比(%)	—	100	100	100	
事業コスト	活動指標1	1,000	1,000	1,000	総事業費／実施箇所
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	多様な就労形態により夜間保育ニーズに対応するためには必要と考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	夜間保育のニーズはあるが他の保育所では職員の配置など困難であることから、そのニーズを充足するためには有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	夜間保育を実施できる保育所は他になく、夜間保育ニーズを充足出来ていると考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	他の保育所では実施しておらず、夜間保育の利用状況に応じた適正な受益者負担で実施されていると考える。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	夜間保育を実施できる保育所は他になく、夜間保育ニーズを充足出来ていると考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	多様化する就労形態により夜間保育ニーズを充足するためには現状のまま継続が必要	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	9
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	母子通園等事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	発達に不安を抱えるお子さんをお待ちの保護者の相談窓口として、発達の遅いお子さんの療育を行い、成長の手助けをする専門機関として運営する。			
対象(何を又は誰を)	発達支援が必要な就学前までの児童			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	親子で通所していただき、1日90分間の療育を必要回数行う。健診へ出向き相談を受けたり、市内保育所・幼稚園より要望があれば出向き、相談を受ける。			
意図(どのような成果を期待しているか)	最善の方法で療育を行い、成長の手助けをする。			
事業実施主体	5市町村(名寄市・下川町・美深町・音威子府村・中川町)			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	8年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市こども発達支援センター条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 通所児童数 発達支援センターに通所する年間延べ人数	人	目標					
			実績	1529	2057	1811	1800	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	24,900	25,481	25,256	26,737	通所事業	
国道支出金	1,347	1,315	1,186	1,315		
地方債						
その他	16,929	22,087	20,257	20,074		
一般財源	6,624	2,079	3,813	5,348		
人件費	6,683	6,629	6,629	6,629		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	1.00	1.00	1.00	1.00		
総事業費	31,583	32,110	31,885	33,366		
対前年比(%)	—	102	99	105		コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	21	16	18	21	総事業費/通所児童数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	携わった児童がスムーズに就学できるよう、教育委員会等関係機関と連携を強化してきました。
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	子どもの成長に不安を抱える保護者のため相談できる窓口を設置し、必要に応じて支援していく体制を整える必要があると考えます。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	児童福祉法に準じて運営しており、利用実績から見ても十分効果を上げていると考えます。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	福祉サービスとして低コストで効果を上げていると考えます。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	児童福祉法に準じて利用料を徴収しており、問題は無いと考えます。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	通所児童延件数も安定した利用数があり、ニーズと供給体制のバランスは良好と考えます。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	5市町村により実施しており、対象となる児童もいることから現状のまま継続	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	10
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課子育て支援係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	乳幼児等医療給付事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	子育て世代の医療費を支援し、健康の促進・向上を図る				
対象(何を又は誰を)	中学校就学前の児童				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	受給者証を発行し医療費の助成を行う				
意図(どのような成果を期待しているか)	養育に係る費用のうち医療費について支援を行う				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期年度)	・無
根拠法令・条例等	名寄市乳幼児等医療費の助成に関する条例				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 対象児童数(3月末現在)	人	目標				1,600	
			実績	1,444	1,530	1,588		
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 医療費助成件数	件	目標				22,070	
			実績	19,419	17,403	20,262		
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	40,444	38,494	50,429	60,138	道補助金 医療費 19,624千円 事務費 116千円
国道支出金	17,376	17,117	19,740	22,533	
地方債					
その他	1,880	1,830	752	500	
一般財源	21,188	19,547	29,937	37,105	医療給付 46,686千円
人件費	2,005	1,989	1,989	1,989	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30	
総事業費	42,449	40,483	52,418	62,127	
対前年比(%)	—	95	129	119	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	29	26	33	総事業費/対象者数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	独自拡大助成をする市町村が増加
改善点	指摘事項 有 () 無 平成26年8月受診分より、対象者認定の所得制限の撤廃と医療費全額助成を実施してきている

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	児童の健全な育成を考えると、平等に医療機関を利用できる環境が必要と考えます。乳幼児については、家庭環境に関わらず健康維持のために必要な制度と考えます。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	医療費の負担をなくし、医療を平等に受けやすくすることにより健康の促進・向上に有効な制度と考えます。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	レセプト請求委託化により経費削減済。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがいいのか？	a	次世代を担う子どもが対象のため、平等で医療を受けられる環境を社会全体で支える考えからすると妥当と考えます。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	医療を身近なものにすることにより、病状の重症化による医療費の増大を防ぐ効果がある。

5 1次評価

評価結果	理由
A	今後も継続必要な事業である。
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	11
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課子育て支援係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	ひとり親家庭等医療給付事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	7	ひとり親家庭の生活安定と自立

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	ひとり親家庭等の医療費を支援することにより生活安定と自立促進を図る				
対象(何を又は誰を)	ひとり親家庭等の父または母と子ども(18歳の最初の3月31日まで 特例として20歳の誕生日まで)				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	受給者証を発行し医療費の助成を行う				
意図(どのような成果を期待しているか)	ひとり親家庭等の医療費について支援を行う				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度)	・ 無
根拠法令・条例等	名寄市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	1	2			実績				
活動指標	1	対象数(3月末現在)	人	目標				800	
				実績	827	789	750		
	2			目標					
成果指標	1	医療費助成件数	件	目標				4,320	
				実績	4,218	3,786	3,737		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	12,077	13,028	12,585	13,462	道補助金
国道支出金	5,081	4,892	4,892	5,731	医療費 4,294千円
地方債					事務費 598千円
その他	1,912	2,818	2,301	2,000	
一般財源	5,084	5,318	5,392	5,731	医療給付 11,388千円
人件費	1,337	1,326	1,326	1,326	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	13,414	14,354	13,911	14,788	
対前年比(%)	—	107	97	106	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	16	18	19	総事業費/対象者数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () 無 平成26年8月受診分より乳幼児等医療給付事業の独自拡大助成により、就学前の子どもと小学生の入院分が全額助成となった

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	ひとり親家庭等の生活安定と自立に向けての必要な制度と考えます。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	医療費の負担軽減により、健康の促進・向上に有効と考えます。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	本事業の経費は主に給付費のため削減は困難である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	北海道医療給付事業による認定基準で行っているため公平かつ公正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	医療を身近なものにすることにより、病状の重症化による医療費の増大を防ぐ効果がある。

5 1次評価

評価結果	理由
A	今後も継続必要な事業である。
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	12
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課子育て支援係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	遠距離通園・通所費助成			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	遠距離から通園(所)する交通費の一部を補助し、子育て世帯の負担軽減を図る				
対象(何を又は誰を)	片道3キロ以上通園(所)している児童の保護者				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	距離に応じた補助金を交付				
意図(どのような成果を期待しているか)	地域を限定することなく、対象を市内全体に広めたことにより、遠距離からでも幼児教育等を受けやすくなる				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	23年度	終期設定	有(終期年度)	・無
根拠法令・条例等	名寄市遠距離通園(所)費補助金交付要綱				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	活動指標	1			申請件数	目標			
実績			21	30		35			
2			目標						
			実績						
3			目標						
			実績						
成果指標	1	認定件数	目標				27		
			実績	21	29	34			
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	494	781	1,286	1,060	34件 補助金 1,286,200円	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	494	781	1,286	1,060		
人件費	668	663	663	663		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10		
総事業費	1,162	1,444	1,949	1,723		
対前年比(%)	—	124	135	88	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	55	50	57	64	総事業費/認定件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () 無 対象者を風連地区限定から市内全体に範囲を広げた

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	子育て中の市民が、遠距離の通園(所)をしなければならない場合の支援として、今後も市が主体で行う事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	通園(所)にかかわる交通費の一部を助成することにより負担軽減となり、遠距離世帯の方にも就学前子どもの教育・保育を受けやすくなる
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	補助金のみのため削減困難
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	申請距離に対し実測による最短距離計測で認定しているため公正公平である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	遠距離で通園(所)を余儀なくされている世帯へも就学前の子どもに関する教育・保育等の提供推進ができています

5 1次評価

評価結果	理由
A	一部の地域に限定して補助実施から、市内全体に対象を広げての事業変更を行ってきた経緯があり、今後も継続実施が必要である
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

※評価対象外

整理番号	7	枝番	13
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課子育て支援係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	子ども手当、子どものための手当			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)						
対象(何を又は誰を)						
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)						
意図(どのような成果を期待しているか)						
事業実施主体						
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期	年度)	・ 無
根拠法令・条例等						

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ~

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性 目的を達成するための方法として有効か？		
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがな いか？		
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成27年度事務事業評価調書

※評価対象外

整理番号	7	枝番	14
評価担当課・係・職名・氏名	こども未来課子育て支援係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	児童扶養手当			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	3	子育て支援の推進
		基本事業	1	子育て支援施策の整備・拡充
		実施計画事業	4	子育て環境の拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)						
対象(何を又は誰を)						
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)						
意図(どのような成果を期待しているか)						
事業実施主体						
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期	年度)	・ 無
根拠法令・条例等						

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ~

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性 目的を達成するための方法として有効か？		
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがな いか？		
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等